横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

健康部保健所健康づくり課

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：がん

1） 2） 3） 4） 5）	がん検診の必要性の周知（●） がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） がん検診における要精検受診率の向上（●）	令和元年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業 健康づくり推進事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・各種イベント等による啓発 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所健康づくり課（市民健診推進担当）
担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民健診の講演会の実施を見送ったが、計画していた事業は概ね実施することができた。		
課題と今後の方向(改善案)	各事業は引き続き継続して実施する。		

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」のポスターを作成（10月予定）し、市の掲示板などに掲示する。	→	・他部局との共同事業のため調整の結果、作成を見送った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見送った	→	・「市民健診・がん検診」啓発ポスターを作成し、市の掲示板などに掲示する。
・市民健診の講演会を開催する。	→		→	・市民健診の講演会を開催する。
・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、胸部検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。	→	・胃がんリスク・大腸がん・胸部・乳がん・子宮頸がん検診の精密検査未受診者に対し、受診勧奨とともに未受診理由の調査を実施。胃がんリスクでは408人に発送し、246人が回答。大腸がんでは712人に発送し、486人が回答。胸部では429人に発送し、286人が回答。乳がん では39人に発送し、 21人が回答、子宮頸がんでは86人に発送し、50人が回答した。返信がなかった方へのフォローは調査時に精密検査受診勧奨文書を送付した。精密検査未受診者への未受診理由で一番多かった理由は、胃がん検診では、「なんとなく受けそびれた」、大腸がんでは「再度検診の結果で考えようと思った」、胸部検診では「毎回同じ結果なので受けなかった」、乳がん検診では「なんとなく受けそびれた」、子宮頸がん検診では「精密検査が必要だと言われなかった」だった。	→	・胃がんリスク、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、胸部検診の精密検査未受診者へのアンケート調査を実施する。
・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。	→	・40歳女性2,274人に乳がんの無料クーポン券を送付し526人が受診、20歳女性1,975人に子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付し293人受診した。	→	・40歳女性に乳がん検診、20歳女性に子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布する。
・40歳男性にがん検診の受診勧奨を行う。	→	・40歳男性2,339人にがん検診の受診勧奨を行い、延べ228人受診した。	→	・40歳男性にがん検診の受診勧奨を行う。
・20歳女性及び40歳男女に、がん検診受診の再勧奨を行う（11月予定）。	→	・20歳女性及び40歳男女6,588人に、がん検診受診の再勧奨を行った。	→	・20歳女性及び40歳男女に、がん検診受診の再勧奨を行う（11月予定）。
・平成27年度胃がんリスク検診A判定者に、検診受診勧奨のはがきを送付する。	→	・平成27年度胃がんリスク検診A判定者2,945人に検診受診勧奨のはがきを送付し、そのうち581人が受診（令和2年度で終了）		
・集団健診の胃がんリスク検診受診者に、胃がん発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。	→	・集団検診の胃がんリスク検診を実施した期間については結果通知に胃がんの発生リスクに関するちらしを同封した。	→	・集団検診の胃がんリスク検診受診者に、胃がんの発生リスクに関するちらしを結果通知に同封する。
・ホームページに市民健診の案内を載せる。	→	・ホームページに市民健診の案内を載せた。	→	・ホームページに市民健診の案内を載せる。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：がん

1） 2） 3） 4） 5）	がん検診の必要性の周知（●） がん予防啓発のための講座等の実施（●） 胸部、大腸、子宮、乳がん、前立腺がん検診の受診者数を増やす取り組み（●） がん検診における要精検受診率の向上（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだため、令和２年度は保健所が実施する事業はほとんど中止となり計画どおりにできなかったとした。
① ② ③ ④ ⑤	市民健診事業 特定健康診査事業 健康教育事業 健康づくり推進事業	・広報等での啓発や市民健診結果説明会の有効活用 ・健康教室の実施 ・講演会の実施 ・ポスター作成やパンフレットの配布 ・各種イベント等による啓発 ・精密検査未受診者へのアンケート調査 ・精密検査受診者へのパンフレットの配布（集団検診）	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向(改善案)	令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しないが、個別相談等は実施するため、実施時にパンフレットの配架等をして周知を図っていく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・引き続き、健康フェア等の市民が多く参加するイベントや健康教育の機会をとらえて、がん検診受診勧奨及び自己検診の啓発を行う。	→	・新型コロナウイルス感染症により健康フェア等の大規模なイベントが中止となったため、未実施	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しないため、個別相談時にパンフレットの配架等をする。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

1） 2） 3） 4） 5）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業 （国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業 健康相談事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・かかりつけ医による個別受診勧奨 ・イベントでの広報活動・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種イベント等による啓発・各種健康相談の実施	保健所健康づくり課 （市民健診推進担当）

担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部の健診項目を限定して実施したが概ね計画していた事業について実施することができた。
課題と今後の方向（改善案）	各事業は引き続き継続して実施する。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・集団健診は5月～翌年の３月15日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月～7月は休止）	→	・集団健診は9月から1月8日まで健診を実施し、７・8月および１月から３月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健診項目を限定して実施した。個別健診は７月から実施した。	→	・集団健診は5月～翌年の３月15日まで実施する。個別健診は5月～翌年2月まで実施する。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健診項目について限定して実施予定）
・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。	→	・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載した。	→	・日曜日に健診を実施している医療機関をホームページに掲載する。
・集団健診の休日健診を日曜日に6回・土曜日に4回実施する。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月～7月は休止）	→	・集団健診の休日健診は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため健診項目を限定して実施した。７・9月は中止、10月からの8回（日曜日5回土曜日3回）実施した。	→	・集団健診の休日健診を日曜日に6回・土曜日に4回実施する。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現時点では中止）
・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。	→	・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載した。	→	・広報よこすかに市民健診の案内記事を月一回掲載する。
・集団健診の結果説明会を年24回開催する。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月～7月は休止）	→	・集団健診の結果説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため１回のみ実施した。	→	・集団健診の結果説明会を開催する。
・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。	→	・特定保健指導については年30回57人（動機付け24回48人、積極的6回9人）実施した。	→	・国保の特定保健指導（動機付け・積極的）の対象者（希望者）に特定保健指導を実施する。
・慢性腎臓病（CKD）や透析に至ることを防ぐため、検診実施医療機関を通じて、糖尿病や高血圧の治療には至っていない生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレットを配布する。	→	・健診実施医療機関142機関を通じて、生活習慣病予備軍の者に対して、CKDのパンフレット2,840部を配布した。	→	・慢性腎臓病（CKD)や透析に至ることを防ぐため、健診実施医療機関を通じて、糖尿病や高血圧の治療には至っていない生活習慣病予備軍の者に対して、CKDパンフレットを配布する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

1） 2） 3） 4） 5）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●） 生活習慣病（脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病）、メタボリックシンドローム予防に関する知識の普及（●） 生活習慣病予防と改善のための食事や運動の講座等の実施（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑤ ⑦ ⑧	市民健診事業 特定健康診査事業 （国保・社保） 健康づくり推進事業 健康教育事業 健康相談事業	・各健康診査の実施 ・市のホームページ等に医療機関情報（日曜診療等）掲載 ・集団健診の休日健診の開催回数の増加 ・広報よこすかに啓発記事の掲載 ・かかりつけ医による個別受診勧奨 ・イベントでの広報活動・生活保護等の特定保健指導の実施 ・市民健診結果説明会の有効活用・各種健康教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・各種イベント等による啓発・各種健康相談の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだため、令和２年度は保健所が実施する事業はほとんど中止となり計画どおりにできなかったとした。
				課題と今後の方向（改善案）	令和３年度には、個別相談は引き続き実施していく。 動画やＨＰを活用し生活習慣病予防に関する知識の普及啓発を行う。 講演会は新型コロナウイルス感染症の感染状況によって判断していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・スマートダイエット講演会は年1回の夜コースのみとする。あわせてすこやかんで開催するスマートダイエット教室も年1回コースとする。	→	・スマートダイエット講演会　１回実施17名参加 ・スマートダイエット教室　すこやかん休館のため、未実施	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が集まる講演会は実施しない。
・【新規】生活習慣病予防講演会を年1回実施する。	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため未実施	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が集まる講演会は実施しない
・【新規】病態別栄養教室のフォロー及び生活習慣病予防を目的とした病態別運動教室を年6回行う。	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため未実施		
・引き続き、健康相談、体力チェックと医師相談、健康運動相談を実施する。	→	・健康相談　　1回実施1名参加 ・体力チェック　新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため未実施	→	・病態別教室および病態別運動教室は９月までは中止、９月以降は新型コロナウイルス感染症の状況をみて決定
		・健康運動相談　新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため未実施	→	・健康相談、体力チェック、健康運動相談を実施。医師相談については中止
		・集団としては未実施であるが、個別の相談（随時電話）について実施 健康相談　57件 栄養相談　38件うち病態別栄養指導は28件	→	・引き続き、個別の健康相談、栄養相談を行う

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：循環器疾患・糖尿病

1） 2） 3）	健康診断を受けやすい環境の整備（●） 健康診断の必要性の周知（●） 必要に応じた健康診断後のフォローの実施（●）	令和2年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
② ④ ⑥	特定健康診査事業 （国保） 特定保健指導事業 （国保）	・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施 ・内臓脂肪型肥満に着目した検査項目での健診を、保健所健診センター及び医療機関に委託し実施 ・毎年5月に受診券を送付　広報紙、ホームページ等で周知 ・40歳から74歳までの国保被保険者に対する特定健康診査の実施後、対象者へ利用券を送付し、特定保健指導を医療機関及び、ICTについては民間事業者に委託し実施	健康長寿課	担当課評価理由	第２期データヘルス計画に沿って、効果・効率的な事業の展開に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の実施を一部中止・変更するなどの対応を取らざるを得なかった。
				課題と今後の方向(改善案)	・既存事業については、引き続き継続して実施する。 ・特定保健指導の実施方法について、自宅からでも利用可能なICTを取り入れ、利用者の利便性を高め、内臓脂肪型肥満の減少を目指す。

令和2年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・はがき・電話による特定健康診査受診勧奨	→	・受診勧奨はがき 17,913通 /電話勧奨は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	→	・はがき・電話による特定健康診査受診勧奨
・早期受診促進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症の影響のため中止	→	・受診動向等により対象者ごとに文面を工夫した勧奨はがきを作成した。	→	・受診勧奨通知の内容改善（個人属性や受診動向等の分析による文面の工夫）
・受診勧奨通知の内容改善（個人属性や受診動向等の分析による文面の工夫）	→			・早期受診促進キャンペーン
・人間ドック費用の一部助成		・人間ドック費用314件助成	→	・人間ドック費用の一部助成
・39歳被保険者を対象にした郵送型簡易血液検査の実施	→	・郵送型簡易血液検査を99人に実施	→	・39歳被保険者を対象にした郵送型簡易血液検査の実施
・勤務先での健康診断結果提出で記念品を贈呈		・勤務先での健康診断結果提出者に記念品を98件贈呈	→	・勤務先での健康診断結果提出で記念品を贈呈
・特定健康診査結果やレセプトデータに基づいて策定した第2期データヘルス計画の推進及び中間評価、改訂計画を策定する。	→	・平成30年3月に策定した第２期データヘルス計画の保健事業について中間評価を実施した。	→	・特定健康診査結果やレセプトデータに基づいて策定し中間評価を実施した、第2期データヘルス計画の推進
・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）を用いたハイリスク者への通知	→	・生活習慣病発症予測通知を388通発送	→	・生活習慣病発症予測通知（生活習慣病の発症リスクを数値化した通知）を用いたハイリスク者への通知
・はがき・電話による特定保健指導利用勧奨	→	・利用勧奨はがき 1,238件/電話勧奨 321件実施（緊急事態宣言中は電話勧奨を中止した）	→	・はがき・電話による特定保健指導利用勧奨
・ハイリスク者への保健指導の実施	→	・血圧・血糖・脂質・腎機能のハイリスク者について医療機関への受診勧奨を実施（通知・電話）	→	・ハイリスク者への保健指導の実施
・糖尿病性腎症重症化予防に関する取り組み	→	・糖尿病性腎症重症化予防プログラムを16人に実施（うち１名は途中辞退）	→	・糖尿病性腎症重症化予防に関する取り組み
・市医師会と連携したCKD病診連携システムの推進	→	・特定健診の結果で腎機能低下が疑われる受診者が、適切な医療を受けられる仕組みを、横須賀市医師会及び腎臓専門医と協働して構築した。	→	・市医師会と連携したCKD病診連携システムの推進
・肥満対策としてチラシ等を利用したポピュレーションアプローチの継続	→	・啓発チラシを作成し、特定健診結果に同封した。	→	・肥満対策としてチラシ等を利用したポピュレーションアプローチの継続

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（１）-１） （１）-３） （２）-１） （２）-２） （２）-３） （２）-５） （２）-６）	ヘルスメイトよこすかの会員数を増やす取り組み（●■） ラジオ体操サポーターを育成する取り組み（●） 地域健康教育、講座の実施（●■） 健康づくりグループの育成（●■） ヘルスメイトの活動の周知（●■） 地域職域等との連携を図る（ラジオ体操の推進、食事バランスの啓発、禁煙対策、適量飲酒、こころの健康など）（●■） ラジオ体操登録団体の支援（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑦ ⑨ ⑩ ⑫ ⑬	健康づくり推進事業 健康教育事業	・健康づくりリーダーの育成 ・ラジオ体操サポーター養成講座、フォローアップ研修の開催 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・ホームページへの掲載やチラシの配布等による周知 ・職域との連携による健康教育の実施 ・各種イベントによる啓発 ・スタートセットの配布 ・ホームページやチラシ等での会場の周知 ・活動発表会の実施 ・ラジオ体操講師の派遣	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだため、令和２年度は保健所が実施する事業はほとんど中止となり計画どおりにできなかったとした。
				課題と今後の方向（改善案）	・健康づくりの発信源としてボランティアの育成と、ボランティアの活動の周知についてチラシなどを配布し行う。 ・食育推進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症が終息に向かい実施可能であれば、開催内容の検討を食育検討部会員と協力しながら、行っていく。（令和３年4月現在開催については未定）

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・サポーターフォローアップ研修を年2回開催する。 ・ラジオ体操活動グループ登録、活動発表会は継続して実施する。 ・訪問希望のあったラジオ体操活動グループを訪問し、訪問の様子をホームページやラジオ体操グループ通信に掲載する。	→ → →	・フォローアップ研修、活動発表会および活動グループ訪問については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため実施せず。 ・ラジオ体操体操活動グループ登録は、86団体 ・緊急事態宣言が発出された際に活動グループあてに活動自粛のお願いの手紙を2回、活動グループ通信を1回送付 ・教室等を実施していないためラジオ体操の啓発をほとんどできなかったが、電話などの個別相談時にラジオ体操グループについて紹介をした。	→	・フォローアップ研修、活動発表会については実施しない。 ・訪問希望のあったラジオ体操活動グループへの訪問は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見て判断する。活動グループ通信は、年１回送付は継続
・各種教室においてラジオ体操の啓発、ラジオ体操活動グループの登録勧奨を行う。 ・地域職域健康教室でラジオ体操の啓発を行う。	→ →	・地域職域健康教室は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、講義内容をＣＤに録画したものを流すような形で実施。実施するにあたり、少人数で受講をお願いし対応してもらった。5回実施し、114人が受講	→	・地域職域健康教室は、今年度も実施。実施方法は新型コロナウイルス感染症の感染状況を見て判断
・ヘルスメイト会員増加を目的に今年度も実施予定。	→	・ヘルスメイトの活動周知として、市内商業施設でのレシピ配布を行った。	→	・ヘルスメイト会員の活動周知や活動の場について支援を行う。
・食育検討部会員のブースへの参加協力を依頼し関係部署と協力を図りながら、今年度も実施する。	→	（令和２年8月から令和３年2月までさいか屋地下２階にて行い、計16レシピ1543枚配布した） ・新型コロナウィルス感染症関連業務を優先して取り組んだため、 事業ヘルスメイト養成講座およびヘルスメイトの協力を依頼するイベントは中止となった。	→	・食育推進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症が終息に向かい実施可能であれば、開催を検討する。開催する際はヘルスメイトの協力を得られるよう調整する。 ・ヘルスメイトよこすかを増やす取り組みとして、養成講座を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（1）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（2）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（1）-2） （2）-1）	介護予防サポーターの活用（●） 地域健康教育、講座の実施（●■）			令和2年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	緊急事態宣言が解除されたタイミングで実施できた事業もあるが、コミュニティセンター等が閉館したこともあり、中止せざるを得ない事業が多かった。
② ⑧	地域介護予防活動支援事業	・介護予防サポーターの育成及び活動支援 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	健康長寿課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員が変更になる可能性がある。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・（地域）地域の底力アップ教室 10回 300人 ・（地域）地域型介護予防教室 290回 延5,800人 ・（地域）ふれあい地域健康教室 50回 1,500人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座 １コース 実50人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修 約500人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座 ３コース 実120人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。	→ → → → → →	・（地域）地域の底力アップ教室 0回 0人 ・（地域）地域型介護予防教室 65回 延924人 ・（地域）ふれあい地域健康教室 16回 315人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座 0コース 0人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修 113人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座 0コース 0人	→ → → → → →	・（地域）地域の底力アップ教室 3回×12包括 ・（地域）地域型介護予防教室 240回 3,600人 ・（地域）ふれあい地域健康教室 50回 1,500人 ・（地域）介護予防サポーター養成講座１コース 実30人 ・（地域）介護予防サポーターフォローアップ研修 300人 ・（地域）地域型介護予防サポーター養成講座 ３コース 実60人

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（２）－１）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	各教室は、新型コロナウィルス感染症予防のため、おおむね開催中止としたが、プレママプレパパ教室については、一部内容を変更して実施したためＢとした。
④	周産期支援事業 母子健康教育指導事業	・妊娠期から子育て期の各種教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウィルス感染症予防に留意しながら、各事業を引き続き継続して行う。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・妊娠期から子育て期の各種教室などにおいて、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を継続して提供する。 ・地域からの依頼による健康教育を継続して実施する。	→ →	プレママプレパパ教室：16回延べ122人参加（平日は中止、土曜日のみ開催） 妊産婦サロン・出張型妊産婦サロン・対象別妊産婦サロン（高齢妊産婦対象）・育はぐ教室（６～１０か月の親子を対象）：新型コロナウィルス感染症予防のため中止	→ →	・妊娠期から子育て期の各種教室などにおいて、妊婦や母親同士の情報交換や交流、相談の機会を継続して提供する。 ・地域からの依頼による健康教育を継続して実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（1）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（2）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（2）-1）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルスの影響により、計画通りに実施することができなかった。
⑤	コミュニティセンター運営管理事業	・コミュニティセンターにおける各種講座の実施	地域コミュニティ支援課 各行政センター	課題と今後の方向（改善案）	オンラインでの実施等、工夫をしながら今後も事業を実施していきたい。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・生涯現役という観点から高齢者教室の内容を充実させる。引き続き健康長寿課の介護予防事業と連携し、生涯現役講座を9コミュニティセンターで開催する。 ・家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。	→ →	各コミュニティセンターの高齢者学級と高齢福祉課の介護予防事業を連携させ、生涯現役講座として９コミュニティセンターで実施した（うち２つは新型コロナウイルスの影響によりすべて中止）。56回実施し、参加者は1,038名 ・家庭教育学級では、親子などを対象とした講座を実施した。14回実施し、参加者は150名 参加者アンケートにおいて、「参考になった」「生活に取り入れたい」などといった感想をいただけた。	→ →	・高齢者学級の内容を充実させるとともに、参加者の増加に努める。 ・家庭教育学級においても引き続き内容の充実と参加者増加に努める。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（２）－１）	地域健康教育、講座の実施（●■）			令和2年度取組についての担当課全体評価	Ａ：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生涯学習センターの休館もあり、講座自体が開設できない状況が続いた。そのような状況下で、新型コロナウイルス関連テーマも含めて４講座を開催し、健康増進に寄与することができた。
⑥	生涯学習センター運営管理事業	・各種講座、市民大学の開催	生涯学習課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことが予想される。リモートでの開催の検討も必要となろうが、実際に足を運んで人と出会うこと自体が健康増進につながることもあるため、新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、実際に集まる講座の方法の検討も必要である。

令和2年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・新型コロナウィルス感染拡大防止対策の状況に応じ、生涯学習センター指定管理事業において、市民大学を含む各種講座を実施する。 ・実施可能であれば、市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。	→ →	・新型コロナウィルス感染拡大防止対策を講じて、市民大学を年間30回講座実施した。 ・健康に関する講座は、市民大学において、神奈川県立保健福祉大学などの協力を得た講座を全４講座実施した。 実施した講座の内容と参加者数 ・終の住処　高齢者のための住まいと介護保険制度／87人 ・地域福祉入門　『いつまでも地域で暮らす』を考える福祉学／32人 ・コロナに負けないからだづくり　免疫力を上げる食生活を学ぶ／52人 ・くらしをささえる医療、介護、年金の役割　２０４０年に向けた社会保障制度の再構築／38人	→ →	・新型コロナウィルス感染拡大防止対策の状況に応じ、生涯学習センター指定管理事業において、市民大学を含む各種講座を実施する。 ・実施可能であれば、市民大学などにおいて、健康に関する講座を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：健康づくりを目的としたネットワーク
（１）健康づくりの発信源としてのボランティアの育成
（２）地域健康づくりネットワークへの取り組み

（２）-４	スポーツ推進委員の活用（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。
⑪	新体カテスト測定員養成事業	・新体カテスト測定員講習会の実施 ・学校へのスポーツ推進委員の派遣 ・スポーツフェスタの開催	スポーツ振興課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウイルスの影響が今後も継続すると思われるが、開催の可能性を検討していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・令和３年２月13日（土）に新体カテスト測定員講習会を開催予定。	→	＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・新型コロナウイルスの影響で中止。	→	＜新体カテスト測定員講習会の実施＞ ・令和４年２月に新体カテスト測定員講習会を開催予定。
＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・5月から6月にかけて、新体カテスト測定員を市内の希望する小学校へ派遣する予定。	→	＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・新型コロナウイルスの影響で中止。	→	＜学校へのスポーツ推進委員の派遣＞ ・新型コロナウイルスの影響で中止。
＜スポーツフェスタの開催＞ ・令和２年10月３日（土）によこすかスポーツフェスタ2020を開催し、スポーツ推進委員が役員となって新体カテストの測定を行う予定。	→	＜スポーツフェスタの開催＞ ・新型コロナウイルスの影響で中止。	→	＜スポーツフェスタの開催＞ ・令和３年10月２日（土）によこすかスポーツフェスタ2021を開催し、スポーツ推進委員が役員となって新体カテストの測定を行う予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

１） ２） ４） ８） ９）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をすることもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 農業体験を経験する機会の提供（■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症予防による緊急事態宣言等の対応規制により、計画通りの実施ができなかった事業もあるが、園児にとって身近な題材をテーマに取り組みをした。
① ⑤ ⑧ ⑯ ⑳	食育活動 食指導 園内菜園	・食育パフォーマンスの実施 ・食事のおたよりの配布 ・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食 ・依頼による食育講話の実施 ・園内菜園の実施	保育課	課題と今後の方向（改善案）	令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策は続くと思うが、昨年度よりは国から具体的な対策が示された分、考慮しながら実施に向けて対応していく予定である。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・食育パフォーマンスの実施	→	・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施　1園 テーマ：しょくじのおはなしかい（だしで味わう和食の日）新型コロナウイルス感染症予防のため1園のみの実施。	→	・食育パフォーマンスの実施
・食事のおたよりの配布		・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設96施設へ毎月送付	→	・食事のおたよりの配布
・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食		・毎日の給食時に保育士等による食指導は毎食実施。（供食については、新型コロナウイルス感染症予防のため園児とは、離れて食事を摂取）園独自の食育活動。	→	・毎日の給食時に保育士等による食指導および共食
・依頼による食育講話の実施	→	・依頼による食育講話、保護者にむけての食育講話実績なし	→	・依頼による食育講話の実施
・園内菜園の実施	→	・園内菜園の実施し給食に取り入れる。	→	・園内菜園の実施
・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演	→	・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演新型コロナウイルス感染症予防のため実績なし。	→	・ヘルスメイトによる和食文化「はしについて」講話と実演
		・幼児のクッキング講座「中国の食文化にふれよう～餃子～」新型コロナウイルス感染症予防のため実績なし。	→	・幼児のクッキング講座「中国の食文化にふれよう～餃子～」

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

１） ２） ４） ８）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） １人で食事をすることもを減らす取り組み（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウィルス感染拡大防止のための市主催イベントの開催可否の判断により、乳幼児健診、各種教室が一部中止となったが、補完としてホームページの情報整理などをし、注目度を向上させた。
② ⑥ ⑨ ⑰	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課	課題と今後の方向(改善案)	乳幼児健診や各種教室の内容をホームページで発信する一方、電話相談などで個別対応を実施していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・乳幼児健診や各種教室等において、授乳・離乳の支援ガイド改定に伴う最新の情報を発信する。 　また、共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べる食べ方等について普及啓発を引き続き行う。	→	・妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べるなどの食べ方について普及啓発を行った。 ・動画を含む情報発信を ホームページなどで行い、閲覧数などの状況確認を行った。 ホームページ閲覧数　前年度比　２割増	→	・乳幼児健診や各種教室などにおいて、授乳・離乳の支援ガイドなどの情報を発信する。 　また、共食の重要性、妊娠期から乳幼児期に必要な食の情報提供、よく噛んで食べるなどの食べ方について普及啓発を引き続き行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

1） 3） 4） 7） 8） 10）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 栄養成分表示の活用方法の普及（■） 食育に関する情報の提供（■） よこすかＥ表示メニュー設置店、普及協力店を増やす取り組み（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■） 食の循環や環境を意識した食育の推進（■）	令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
③ ⑦ ⑪ ⑮ ⑱ ㉒	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・食育推進教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食品衛生責任者講習会および巡回での説明の実施 ・外食の栄養成分表示を上手に活用するための教室の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・食育推進キャンペーンの実施 ・食品ロスの削減を推進するための講座等の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため市民が参加するイベントは実施しなかった。また、新型コロナウイルス感染症対策を最優先としたため、事業中止となり、計画通りできなかったと評価するが、可能な情報発信を行った。 ・「よこすかＥ表示」は、生活衛生課主催の食品衛生責任者講習用YouTubeにてよこすかＥ表示の動画を組み込み、周知を行った。 ・栄養成分表示活用方法について、ＨＰで周知を行った。 ・「おうちで作ろう！健康バランスメニュー」「健康のための外食・コンビニ食の選び方」などをＨＰにアップし、食事バランスについて周知を行った。 ・昨年に引き続き、6月に市役所展示コーナーにて食育に関する展示を行い、普及啓発を行った。 ・「よこすかＥ表示」登録件数は目標値の90%を超えている。
				課題と今後の方向（改善案）	・従来の実施方法以外も検討し、動画配信やツイッターを活用し普及啓発を行う。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・食育を基本テーマとして、講演会・調理実習を行う。	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナ感染症関連業務優先としたため事業中止となった。	→	・食育を基本テーマとして、動画の配信など ホームページを活用して周知を図る。
・栄養成分表示を上手に活用し、生活習慣病予防を目的とした市民向け講習会を実施する。	→	・栄養成分表示に関するＨＰ内容をより分かりやすく修正した。	→	・栄養成分表示、食事バランスガイドについては、既存の教室等で周知を行う。
・食事バランスガイドを活用し、より良い食生活へ導けるよう食事バランスガイド講習会を実施する。	→		→	
・「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示による、市民への周知協力依頼及び登録依頼の要請。	→	・「よこすかＥ表示」普及協力店307店舗登録。 市ホームページに店舗名掲載（希望店のみ）。	→	・「よこすかＥ表示」普及協力店へ引き続き掲示による、市民への周知協力依頼及び登録依頼の要請。
・「よこすかＥ表示」メニュー設置店の店舗専用ポスター作成及び市民への周知協力依頼。	→	・「よこすかＥ表示」メニュー設置店11店舗登録。 市ホームページに、店舗名・店舗専用ポスター掲載。 「よこすかＥ表示」登録店については、 令和2年度末318店舗となり目標値の96.4%となる。	→	・「よこすかＥ表示」メニュー設置店の店舗専用ポスター作成及び市民への周知協力依頼。
・6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。	→	・6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。 市ホームページにてレシピなどを掲載。	→	・6月に市役所展示コーナーにて食育展示を実施。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

１） ４） ８）	健康づくり教室や食育教室の実施（■） 食育に関する情報の提供（■） よく噛んで味わって食べるなどの食べ方の啓発（■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響で料理教室の実施が難しくなり、全て中止せざるを得なかった。シニアのための栄養講座は講話のため、緊急事態宣言の状況を見ながら何度も予定を変更し、4回実施することができた。生涯現役講座は、実施途中で緊急事態宣言と重なり、3コミュニティセンターでの実施に留まった。
④ ⑫ ⑲	地域介護予防活動支援事業 介護予防普及啓発事業	・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施 ・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	健康長寿課	課題と今後の方向（改善案）	生涯現役講座は、高齢者保健福祉計画（第7期計画）終了と共に事業を見直し中止した。男性料理教室、女性のための料理教室、シニアのための栄養教室は事業を見直し、低栄養改善教室として実施する。新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員が変更になる可能性がある。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人	→	・（地域）ふれあい地域健康教室　16回　延315人	→	・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人
・（普及）男性料理　1日コース×8会場　定員20人	→	・（普及）男性料理教室　全て中止	→	・（普及）低栄養改善教室　1日コース×8回　延160人
・（普及）女性のための料理教室 1日コース×3会場　定員20人	→	・（普及）女性のための料理教室　全て中止	→	
・（普及）シニアのための栄養教室 1日コース×8会場　定員20人	→	・（普及）シニアのための栄養教室　4回　50人	→	
※ 令和２年度からは、他の調理実習に（実践編）の内容も盛り込んで実施する方向で、業務を見直し実施しないこととした。	→			
	→			
・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）	→	・生涯現役講座（コミュニティセンターとの連携） （栄養）１回×３コミュニティセンター　延57人		
1回×9コミュニティセンター	→			
＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。				

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

4） 5） 11）	食育に関する情報の提供（■） 学校給食での地産地消の推進（■） 学校における食育の推進（■）	令和2年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
⑩ ⑬ ㉔ ㉕	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発 ・学校給食での地場産物の使用の推進 （統一献立および自校献立） ・「食に関する指導の全体計画」の策定、実施 ・「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践 ・関連各教科における食に関する指導（栄養教諭等の活用も含め）の実践 ・中学校完全給食の開始に合わせた、中学校教職員への研修の充実 ・給食センターを活用した食育の取り組みの検討	学校食育課	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染防止のため、実施できなかった事業や目標値に達しなかった事業もあるが、給食提供や給食だより等の発行、中学校への巡回説明等を通じ、食育推進に取り組むことができたため。
				課題と今後の方向（改善案）	・各学校が作成する「食に関する指導の全体計画」について、その意義や留意点等に対する教職員の理解を深める必要があり、より一層の周知を図っていく。 ・中学校完全給食を円滑に実施する上でのさまざまな課題等について、学校ごとに教職員と共有し、解決を図り、学校給食を通じた食育推進につなげていく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。	→	・新型コロナウィルス感染症防止の観点から夏季研修講座は中止。 ・基準献立予定表、給食だより、食育だよりを概ね月１回発行した。	→	・食育研修を、夏季研修講座に位置付け実施する。また、基準献立予定表、給食だより、食育だより等を発行する。
・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。	→	・統一献立における地場産物の使用割合は14.3%。6月下旬まで給食を中止した影響により目標を下回った。	→	・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指す。
・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。	→	・新型コロナウィルス感染症防止の観点から、市立学校食育担当者会議は中止。	→	・学校における食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。
・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。	→	・市内小学校全校で「給食時間マニュアル」に基づく給食指導を継続して実施した。	→	（小学校） ・給食時間マニュアルを活用し、児童が給食を通して、望ましい食習慣とその実践力を身に付けられるよう指導する。
・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームを２回（８月、11月）開催した。 ・給食時間マニュアル（中学校版）案を作成した。また、中学校完全給食通信の発行（１回、12月）、全中学校への巡回説明（９～11月）により、中学校完全給食実施に向けて教職員の理解を深めた。	→	（中学校） ・給食時間マニュアル（中学校版）の発行、中学校巡回（５～８月）による説明などにより、給食を通じた食育に関する中学校教職員の理解を深める。 ・9月下旬に完全給食を開始し、給食時間マニュアルを活用し、食育を推進する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育　　修正

６）	食の安全性の普及啓発（■）			令和2年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・市施設を利用したイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
⑭	食品衛生事業	・食のセミナーおよび食品衛生講習会開催	保健所生活衛生課	課題と今後の方向(改善案)	・各事業は可能な範囲で継続して実施する。 ・実施する場合は会場の広さや会場管理者の意向等を勘案し参加者の人数を決める。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・市民向け食品衛生講習会を開催	→	新型コロナウイルスの影響により実施しなかった。	→	・希望があれば市民向け食品衛生講習会を可能な範囲で開催
・食のセミナーを令和３年3月開催	→	新型コロナウイルスの影響により実施しなかった。	→	・食のセミナーを令和４年3月開催予定

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

９）	農業体験を経験する機会の提供（■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	予定していた計画はすべて、実施で進めていたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止となったため、未評価とする。
㉑	地産地消推進事業	・農業体験の実施（児童対象） ・親子酪農体験の実施（児童・保護者対象）	農業振興課	課題と今後の方向（改善案）	農業体験は、参加者からの満足度が高く、農業者との交流を通じて横須賀の農業への理解を深める事業として重要であるため、新型コロナウィルス感染症の状況を鑑み、関係機関と実施方法について検討していく。親子酪農体験は実施せず、畜産関係PRイベントを検討していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・農業体験 年２回実施予定 （夏季・冬季に小学校５・６年生　各回50人対象に実施予定） ・畜産関係PRイベント 乳しぼり体験、パネル展示などを予定。	→ →	・農業体験 ※令和２年７月11日及び令和３年１月16日の開催予定だったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止 ・畜産関係PRイベント ※新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止	→ →	・農業体験 ※新型コロナウィルス感染症の終息が見えない状況を鑑み、開催中断（予算計上なし） ・畜産関係PRイベント ※新型コロナウィルス感染症の終息が見えない状況を鑑み、開催中断（予算計上なし）

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：食育

10）	食の循環や環境を意識した食育の推進（■）			令和2年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、子供ごみ教室は概ね実施したが、出前トークがほとんど実施されなかったため。
㉓	減量化・資源化啓発事業	・子どもごみ教室（小・中・高校生対象）およびごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ポスター等による食品ロス削減の啓発	資源循環政策課	課題と今後の方向（改善案）	今年度についても可能な限り出前トークを活用した啓発や、市ホームページ等を活用した啓発を続けていく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
引き続き、ごみトークやごみ問題学習会等の催し物での啓発 ・子どもごみ教室（保育園、幼稚園、小・中・高校生対象）での啓発 ・ごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ごみ問題学習会（町内会等対象）での啓発 ・アイクルフェア等イベントでの啓発 食品ロスのホームページをより伝わるよう編集し、インターネットを媒体とした啓発を行う	→ → → →	・子どもごみ教室（保育園、幼稚園、小・中・高校生対象）での啓発 食品ロスのホームページをより伝わるよう編集し、インターネットを媒体とした啓発を行う	→ → → →	ごみトークやごみ問題学習会等の催し物での啓発 ・子どもごみ教室（保育園、幼稚園、小・中・高校生対象）での啓発 ・ごみトーク（出前トーク、町内会等対象）での啓発 ・ごみ問題学習会（町内会等対象）での啓発 食品ロスのホームページをより伝わるよう編集し、インターネットを媒体とした啓発を行う

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養・食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

（1）-1） （1）-2） （1）-3） （1）-4）	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症予防による緊急事態宣言等の対応規制により、計画通りの実施ができなかった事業もあるが、園児にとって身近な題材をテーマに取り組みをした。
① ⑤ ⑩ ⑭	健康診断 食育活動 調理員講習会	・内科健診の実施 ・食事のおたよりの配布や食育パフォーマンスの実施 ・保育園調理員を対象とした調理講習会の実施	保育課	課題と今後の方向（改善案）	令和3年度も新型コロナウイルス感染症予防対策は続くと思われるが、昨年度よりは国からの具体的な対策等が示された分、考慮しながら実施に向けて対応していく予定である。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・内科健診の実施	→	・内科健診の実施　0～2歳児隔月実施　3～5歳児年3回実施 公立保育園10園1115人（適正体重968人、肥満125人、やせ22人）範囲外の割13.1%。	→	・内科健診の実施
・食事のおたよりの配布	→	・食事のおたよりの配布　認可、認可外保育施設96施設へ毎月送付	→	・食事のおたよりの配布
・食育パフォーマンスの実施	→	・園児を対象とした食育パフォーマンスの実施	→	・食育パフォーマンスの実施
・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施	→	1園。新型コロナウイルス感染症予防のため1園のみの実施。	→	・保育施設調理員を対象とした調理講習会の実施

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養・食生活
（1）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

（1）-1） （1）-2） （1）-3） （1）-4）	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウィルス感染症拡大防止のための市主催イベントの開催可否の判断により、乳幼児健診、各種教室が一部中止となったが、補完としてホームページの情報整理などをし、注目度を向上させた。
② ⑥ ⑪ ⑮	周産期支援事業 母子健康教育指導事業 訪問指導 母子健康診査事業	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、り教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施	こども健康課	課題と今後の方向（改善案）	乳幼児健診や各種教室の内容をホームページで発信する一方、離乳食・幼児食相談会と称して個別相談を継続し、電話相談などで個別対応をしていく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室において、保護者の習慣を含めバランスよく3食食べることの知識の普及を、継続して行う。	→	乳幼児健診や周産期教室、離乳食や幼児期食育教室、育児相談などでパンフレットなどを活用し、バランスよく３食食べることの知識の普及を行った。 地域依頼による栄養に関する健康教育　（0回延0人） プレママ・プレパパ栄養教室（2回延7人） 楽しいマタニティクッキング（0回延0人） 離乳食スタート教室（11回延48人） 離乳食ステップアップ教室（7回延25人） 10か月からの食事と歯の教室（6回延29人） 幼児食スタート教室（4回延22人） 幼児食ステップアップ教室（0回延0人） 4.5歳児食育歯みがき教室（0回0人） 離乳食・幼児食相談会（18回59人） いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、閉止や密を避けるため定員を減らしたりした。このため、ツイッターやLINEを利用しながらホームページからの情報発信を強化した。 ホームページ閲覧数　前年度比　２割増	→	・妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問、教室において、保護者の習慣を含めバランスよく3食食べることの知識の普及を、継続して行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養・食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

（1）-1） （1）-2） （1）-3） （1）-4）	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため市民が参加するイベントは実施しなかった。また、新型コロナ感染症関連業務優先としたため、食育推進キャンペーンは中止なり、計画通りできなかった。
③ ⑧ ⑫ ⑯	健康づくり推進事業 健康食生活推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・食育推進教室の実施 ・地域や職域からの依頼による健康教育の実施 ・職域との連携による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ヘルスメイトによる委託事業の実施 ・食育推進キャンペーンの実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向（改善案）	各事業については教室実施だけでなく、動画やＨＰを活用し普及啓発を行う。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・食育推進キャンペーンは関係部署からの参加を募り、引き続き開催予定。	→	食育推進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症の影響より中止となった。	→	・食育推進キャンペーンは新型コロナウイルス感染症が終息に向かい実施可能であれば、開催を検討する。 ・バランスよく食べる必要性などを動画やＨＰを活用して情報発信予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養・食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

（1）-1） （1）-2） （1）-3） （1）-4）	栄養や運動に関する知識の普及啓発、各種講座の実施（●■） バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■） 食事バランスガイドなどの活用方法の普及（●■） 各種講座の実施（●■）	令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
④ ⑨ ⑬ ⑰	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業 地域リハビリテーション活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及のための訪問、教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施 ・地域からの依頼による介護予防に関する講座の実施	健康長寿課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ない事業が多かった。当初の計画どおりにはできなかったが、集合型の教室の代替えとして、コロナ禍におけるフレイル状況アンケートの実施や、WEB介護予防教室の作成、ポスターを作製し市内掲示板や庁内掲示板への掲示等により介護予防の普及啓発を行った。
				課題と今後の方向（改善案）	高齢者保健福祉計画（８期計画）への移行に伴い、事業を見直した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員が変更になる可能性がある。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人	→	・（地域）ふれあい地域健康教室　16回　延315人	→	・（地域）ふれあい地域健康教室　50回　延1,500人
・（普及）男性料理　１日コース×８会場　定員20人	→	・（普及）男性料理教室　全て中止	→	・（普及）低栄養改善教室　１日コース×8回　延160人
・（普及）女性のための料理教室 １日コース×３会場　定員20人	→	・（普及）女性のための料理教室　全て中止	→	
	→	・（普及）シニアのための栄養教室　4回　50人		
・（普及）シニアのための栄養教室 １日コース×８会場　定員20人	→		→	
	→			
・生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） １回×９コミュニティセンター	→	・生涯現役講座（コミュニティセンターとの連携） （栄養）１回×３コミュニティセンター　延57人	→	
＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。				

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：栄養・食生活
（１）ライフステージにあわせた適正体重を維持するための取り組み

（1）-2）	バランスよく（主食・主菜・副菜を摂取することの必要性など）、３食食べることの知識の普及啓発（●■）			令和2年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	・新型コロナウイルス感染防止のため、実施できなかった事業や目標値に達しなかった事業もあるが、給食提供や給食だより等の発行、中学校への巡回説明等を通じ、食育推進に取り組むことができたため。
⑦	学校保健関係指導	・夏季研修講座「食育」、食指導研修 ・給食だより等による意識啓発	学校食育課	課題と今後の方向（改善案）	・各学校が作成する「食に関する指導の全体計画」について、その意義や留意点等に対する教職員の理解を深める必要があり、より一層の周知を図っていく。 ・中学校完全給食を円滑に実施する上でのさまざまな課題等について、学校ごとに教職員と共有し、解決を図り、学校給食を通じた食育推進につなげていく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・引き続き食育研修を、夏季研修講座に位置付け、継続して基準献立予定表、給食だより、食育だより等の発行を行っていく。	→	・新型コロナウィルス感染症防止の観点から夏季研修講座は中止。 ・基準献立予定表、給食だより、食育だよりを概ね月１回発行した。	→	・食育研修を、夏季研修講座に位置付け実施する。また、基準献立予定表、給食だより、食育だより等を発行する。
・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指していく。	→	・統一献立における地場産物の使用割合は14.3%。6月下旬まで給食を中止した影響により目標を下回った。	→	・統一献立における地場産物の使用割合を15.4%以上を目指す。
・食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。	→	・新型コロナウィルス感染症防止の観点から、市立学校食育担当者会議は中止。	→	・学校における食育の推進体制づくりを支援するため、市立学校食育担当者会議を開催する。
・給食時間の準備から後片付けまでの活動を通して、担任が計画的・継続的な指導を行うことにより児童に望ましい食習慣と食に関する実践力を身に付けさせるために、「給食時間マニュアル」を市内全小学校で実施し、指導の充実を図る。	→	・市内小学校全校で「給食時間マニュアル」に基づく給食指導を継続して実施した。	→	（小学校） ・給食時間マニュアルを活用し、児童が給食を通して、望ましい食習慣とその実践力を身に付けられるよう指導する。
・中学校完全給食課題対策ワーキングチームによる具体的課題についての検討。（給食時間マニュアルの中学校版の作成、教職員向け研修内容の精査、情報発信等）	→	・中学校完全給食課題対策ワーキングチームを２回（８月、11月）開催した。 ・給食時間マニュアル（中学校版）案を作成した。また、中学校完全給食通信の発行（１回、12月）、全中学校への巡回説明（９～11月）により、中学校完全給食実施に向けて教職員の理解を深めた。	→	（中学校） ・給食時間マニュアル（中学校版）の発行、中学校巡回（５～８月）による説明などにより、給食を通じた食育に関する中学校教職員の理解を深める。 ・9月下旬に完全給食を開始し、給食時間マニュアルを活用し、食育を推進する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

（1）-1） （2）-1） （2）-2） （2）-3）	生活活動（労働、家事、通勤、通学など）を活用した身体活動量の増加の取り組み（●） ラジオ体操、ウオーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ③ ⑤ ⑦	健康づくり推進事業 健康教育事業	・各種健康教室の実施 ・地域、職域からの依頼による健康教育の実施 ・ポスター・ちらし・市ホームページを利用した普及啓発 ・ラジオ体操やウオーキングに関する教室、講習等の実施 ・健康増進センターと連携した健康教室の実施	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだため、令和２年度は保健所が実施する事業はほとんど中止となり計画どおりにできなかったとした。
				課題と今後の方向（改善案）	各種事業については新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて、開催を検討する。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・ウオーキング講演会（年1回）・ロコモ予防講座（年1回）・ウオーキング講座（年2回）・【新規】生活習慣病予防講演会（年1回）を開催する。	→	・ウオーキング講演会、ロコモ予防教室、生活習慣病予防講演会は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止	→	・講演会や講座は、９月までは中止とし、新型コロナウイルス感染症の状況をみたうえで、事業の実施の有無については検討とする。
・ウオーキング協会と共催で行う健康教育は令和２年度も継続して開催予定。	→	・ウオーキング講座は午前・午後と1回実施し、あわせて27名が参加（午前16名、午後11名）	→	
・【新規】病態別栄養教室のフォロー及び生活習慣病予防を目的とした病態別運動教室を年6回行う。	→			
・運動習慣を持つ人を増やすことを目的として、昨年度開催した「運動を始める人のための教室」をリニューアルし、「体も脳もすっきり楽らく運動教室」を年4回開催する。	→	・「体も脳もすっきり楽らく運動教室」は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止	→	
・地域、職域からの依頼による健康教育を実施していく。	→	・職域から依頼のあった健康教育を新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、講義内容をＣＤに録画したものを流すような形で実施。実施するにあたり、少人数で受講をお願いし対応してもらった。5回実施し、114人が受講。	→	・地域、職域からの依頼による健康教育は、新型コロナウイルスの蔓延状況によって方法等を検討しながら実施することとする。
・健康増進センターと連携して行う目的別教室を年4コース各回10回で開催する。	→	・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、健康増進センターは閉館していたため連携事業は実施しなかった	→	・健康増進センターは工事のため閉館しており、連携事業は中止
・ウオーキングサインのちらしを講演会や教室等で配布し、啓発をはかるとともに、ホームページでも啓発を継続していく。	→		→	・ウオーキングサインについては、横須賀市のホームページ掲載内容について検討する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

（2）-1） （2）-2） （2）-3）	ラジオ体操、ウオーキングなどの普及（●） 健康増進センター、運動施設（体育会館・プール）等の活用（●） 運動の各種教室等の実施（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
② ④ ⑥	市民レクリエーション事業 学校体育施設開放奨励事業 体育会館管理委託、営繕工事 市民スポーツ教室事業	・夏休みを利用したラジオ体操の会の実施 ・ラジオ体操講習会の実施 ・学校体育施設の地域住民等への開放の実施 ・体育会館等の適正な維持管理、修繕 ・幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催	スポーツ振興課	担当課評価理由	概ね計画通り実施できたが、新型コロナウイルス感染症の関係で一部実施できなかった。
				課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウイルス感染症の影響が今後も継続すると思われるが、開催の可能性を検討していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。	→	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行った。ラジオ体操カードは10,975枚、精勤賞は10,245枚配布	→	＜夏休みを利用したラジオ体操の会の実施＞ ・ラジオ体操カード・精勤賞状を配布し、ラジオ体操の会実施のサポートを継続して行う。
＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計72施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行う。	→	＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計71施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行った。	→	＜学校体育施設の地域住民等への開放の実施＞ ・学校体育施設開放奨励事業は小学校46校中学校23校計72施設の校庭と体育館において、地域住民への開放を行う。
＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事を予定している。	→	＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事。	→	＜体育会館等の適正な維持管理、修繕＞ ・2施設において大規模な営繕工事を予定している。
＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・18教室45コースを実施予定。（新型コロナウイルス感染症の影響で予定が組めず、昨年度よりも減少）	→	＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・13教室を実施。幼児～60歳以上で約1,600人が参加。２月～３月においては、新型コロナウィルス感染症関係で一部実施できなかった。		＜幼児から高齢者へスポーツの機会を提供するためのスポーツ教室の開催＞ ・20教室を実施予定。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：身体活動・運動
（１）ライフステージにあわせた日常生活（生活活動）の中で、身体活動を増やす取り組み
（２）ライフステージにあわせた体力の維持、向上を目的として計画的、意図的に実施する運動を増やす取り組み

（2）-3）	運動の各種教室等の実施（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	介護予防普及啓発講演会は、集客での実施を予定していたが、コロナ禍のため急遽WEBで開催した。参加人数は少なかったが好評だった。 生涯現役講座は、実施途中で緊急事態宣言と重なり、3コミュニティセンターでの実施に留まった。
⑧	介護予防普及啓発事業 地域介護予防活動支援事業	・介護予防に関する知識の普及と運動習慣の増進を目的とした教室の実施 ・地域包括支援センターによる介護予防に関する講座の実施	健康長寿課	課題と今後の方向（改善案）	高齢者福祉計画（８期計画）への移行に伴い「関節らくらく教室」と骨密度アップ教室」を見直し、「運動機能改善教室」として実施する。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・（普及）生涯現役フォーラム（介護予防普及啓発講演会）　1回　500人 ・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）　9コミュニティセンター×1回 ・（普及）関節らくらく教室　4日コース×12会場　定員35人 ・（普及）骨密度アップ教室　6日コース×４会場　定員40人 ・（地域）地域型介護予防教室　290回　5,800人 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。	→ → → → →	・（普及）介護予防普及啓発講演会　2回　延42人 ・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携）（運動）３コミュニティセンター×１回延53人 ・（普及）関節らくらく教室（４日で１コース）４日コース×5会場　実10人　延184人 ・（普及）骨密度アップ教室（３日で１コース）６日コース×４会場　実17人　延156人 ・（地域）地域型介護予防教室　65回延924人	→ → → → →	・（普及）介護予防普及啓発講演会　1回200人 ・（普及）運動機能改善教室　3日コース×8会場×30人　実240人 ・（地域）地域型介護予防教室　240回　3,600人

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：休養・こころの健康
（１）活動と休養のバランスをとることの重要性の推進
（２）こころの健康づくり（自殺対策）の推進

（1）-1） （1）-2） （2）-1） （2）-2） （2）-3）	睡眠と生活習慣病は関連があるという知識の普及啓発（●） 生活リズムを整えることの重要性についての啓発（●） 相談窓口等の情報提供（●） 各種講座・講演等の実施（●） サポート体制の充実（ゲートキーパーの育成等）（●）	令和２年度取組についての担当課全体評価	B：概ね計画通りできた

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ② ③ ④ ⑥	健康教育事業 精神保健対策事業	・生活習慣病と睡眠に関する健康教室の実施 ・地域からの依頼による健康教育の実施 ・職域との連携による健康教育の実施 ・休養に関する健康教室の実施 ・相談することの大切さについての啓発 ・相談機関を掲載した冊子の配布 ・ホームページ上に相談機関の掲載 ・自殺対策キャンペーンの実施 ・こころの病気に視点をおいた健康づくり教室の実施 ・講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施	保健所健康づくり課	担当課評価理由	コロナ禍で多くの事業を中止せざるをえなかったが、人材育成ができないかわりにゲートキーパー動画のＨＰ掲載、啓発活動においてはユーチューブで市長メッセージ、広報よこすか12月号の２面に特集記事掲載、ＦＭブルー湘南へ出演などを行った。
				課題と今後の方向（改善案）	コロナ禍が継続するなかで、工夫をしながら事業を実施していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・横須賀市自殺対策計画の進行管理 ・自殺対策推進本部会議の開催 ・自殺対策推進課長会議の開催 ・自殺対策推進協議会の開催 ・自殺予防街頭キャンペーンの実施 ・「よこすか心ののホットライン」の配布 ・「よこすか心ののホットライン」ホームページ掲載 ・ゲートキーパー養成研修（初級・中級・上級）の開催 ・ゲートキーパー登録制度の実施 ・ハイリスク者支援連携会議の開催 ・こころの健康づくり教室の開催 ・地域依頼による教室の開催 ・自殺未遂者支援の実施 ・自死遺族分ち合いの会の開催 ・自死遺族個別相談会の開催 ・自死遺族対策研修会の開催 ・性的マイノリティ分かち合いの会の開催補助 ・自殺対策研修会の開催 ・包括相談会の開催 ・アウトリーチ包括相談の実施 ・自殺未遂者検討会の開催 ・昨年度に引き続き、健康教育事業の中で、また地域や職域からの要望に応じて、休養に関する講話を実施していく。	→	・横須賀市自殺対策計画の進行状況をまとめ各会議において承認された ・自殺対策推進本部会議の１回開催（書面会議） ・自殺対策推進課長会議の１回開催（書面会議） ・自殺対策推進協議会の2回開催（うち1回は書面会議） ・自殺予防街頭キャンペーン（中止） ・「よこすか心ののホットライン」を9,555冊配布 ・「よこすか心ののホットライン」をホームページに掲載した ・ゲートキーパー養成研修（中止） ・ゲートキーパー登録制度の更新を実施した ・ハイリスク者支援連携会議（中止） ・こころの健康づくり教室（中止） ・地域依頼による教室の開催（依頼なし） ・自殺未遂者支援の新規51件実施 ・自死遺族分ち合いの会の4回開催 ・自死遺族個別相談会12回開催するも参加者なし ・自死遺族対策研修会（中止） ・性的マイノリティ分かち合いの会（コロナ対策が不十分なため補助せず） ・自殺対策研修会（中止） ・包括相談会2回開催 ・アウトリーチ包括相談の3回実施 ・自殺未遂者検討会2回開催（書面会議）	→	・横須賀市自殺対策計画の進行管理 ・自殺対策推進本部会議の開催 ・自殺対策推進課長会議の開催 ・自殺対策推進協議会の開催 ・自殺予防街頭キャンペーンの実施 ・「よこすか心ののホットライン」の配布 ・「よこすか心ののホットライン」ホームページ掲載 ・ゲートキーパー養成研修（初級・中級・上級）の開催 ・ゲートキーパー登録制度の実施 ・ハイリスク者支援連携会議の開催 ・こころの健康づくり教室の開催 ・地域依頼による教室の開催 ・自殺未遂者支援の実施 ・自死遺族分ち合いの会の開催 ・自死遺族個別相談会の開催 ・自死遺族対策研修会の開催 ・性的マイノリティ分かち合いの会の開催補助 ・自殺対策研修会の開催 ・包括相談会の開催 ・アウトリーチ包括相談の実施 ・自殺未遂者検討会の開催 ・昨年度に引き続き、健康教育事業の中で、また地域や職域からの要望に応じて、休養に関する講話を実施していく。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表
取り組みの分野：休養・こころの健康
（１）活動と休養のバランスをとることの重要性の推進
（２）こころの健康づくり（自殺対策）の推進

（2）-2）	各種講座・講演等の実施（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	A：計画通りできた
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	WEB介護予防教室（おうちで簡単シリーズ）で分かりやすく情報発信すると共に、QRコードの使い方についても介護予防教室で情報発信を行った。 また、「うつ予防ポスター」の掲示も計画どおり行うことができた。
⑤	介護予防普及啓発事業	・高齢者のうつ予防教室の実施	健康長寿課	課題と今後の方向（改善案）	令和２年度と同様に実施する。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
うつ予防（こころ）の内容として、感謝の気持ち、笑顔、ハッピーウォーキング、家でのリラックス法など、10種類の情報を発信している。 WEB介護予防教室（おうちで簡単シリーズ）は、個人だけでなく通いの場等で活用することにも配慮し、栄養、運動、認知症など様々なテーマで作成していく。現在１日１種類ずつ活用して1か月分に当たる30種類の媒体を掲載している。当面は作成した媒体の普及に努め、その後、活用状況を見た上で新たな媒体作りについて検討する。	→	「QRコードの使い方」について、フレイル予防教室等で情報を発信し、気軽にWEB介護予防教室の内容を知っていただけるよう努めた。 「うつ予防ポスター」を550枚作製し、市内掲示板、地域包括支援センター、庁内掲示板で掲示し、うつ予防の啓発を行った。	→	今までどおり、WEB介護予防教室で情報を発信しつつ「QRコードの使い方」についても、介護予防教室等で啓発を行う。 また、「うつ予防ポスター」を作成し、うつ予防の啓発を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

１） ２） ３） ４）	たばこをやめたい人及びその家族への支援（●） 未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●） ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）の知識の普及（●） 喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	Ｃ：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため多くの市民が参加するイベントは実施しなかった。新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組んだため、令和２年度は保健所が実施する事業はほとんど中止となり計画どおりにできなかったとした。
① ④ ⑤ ⑦	健康教育事業 健康づくり推進事業	・各種健康教室の実施 ・広報紙等での啓発 ・喫煙・受動喫煙に関する健康教育の実施 ・地域、職域等へのチラシやポスターの配布 ・各種イベントによる啓発	保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）	課題と今後の方向（改善案）	令和３年度についても少人数での卒煙教室や電話等の個別相談は引き続き実施していく。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・令和元年度同様「スパッと卒煙教室」年6回実施。	→	卒煙教室は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止 禁煙について電話相談を実施　6件	→	・「スパっと卒煙教室」年６回実施 ・個別の電話相談は継続して実施
・前年度に引き続き県立高校等へ喫煙防止教育実施。	→	県立高校への教育は依頼があったが、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止した	→	・県立高校への教育は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止とする。
・世界禁煙デー啓発ため、本庁舎内展示コーナーにパネル展示を実施。	→	本庁舎内展示コーナーに　5月25日～5月29日まで展示	→	・世界禁煙デー啓発のため、本庁舎内展示コーナーに　5月21日～5月28日まで展示 ・受動喫煙防止のため啓発ポスターを作成し、関係機関へ配架

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

2）	未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	青少年健全育成協力店向け非行防止講座の年度内未実施となり、さらに青少年健全育成協力店の新規開拓も目標値を下回ったため。
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども家庭支援課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウィルス感染症予防の観点からの巡回指導の実施や非行防止講座の実施方法の検討および、青少年健全育成協力店への情報提供のあり方の検討。

令和2年度計画		令和２年度実績		令和3年度計画
・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行った。 巡回指導 200件（指導113件、助言87件）	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。
・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店向けへの情報の発信について検討を行う。	→	・非行防止講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。 ・育成店向け非行防止講座も開催を見送ったが、これに替えて「協力店だより」を作成し、協力店に送付した。 ・青少年健全育成協力店の新規開拓は目標値を下回り、延べ件数は減少した。 青少年健全育成協力店　累計協力店　327店 新規開拓件数0件	→	・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店向けへの情報の発信について検討を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

<table>
<tr><td>2）</td><td colspan="3">未成年者に対する喫煙防止の取り組み（●）</td><td>令和2年度取組についての担当課全体評価</td><td>A：計画通りできた</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">・計画中の事業について、予定通り実施することができた。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>学校保健関係指導</td><td>・学習指導要領解説に基づく学習指導</td><td>保健体育課</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向（改善案）</td><td>・新学習指導要領（小学校は令和２年度から、中学校は令和３年度から全面実施）に基づく学習活動の充実を図る。
（参考）薬物乱用防止教育に係る予算措置の拡充を求める。（小学校46校、中学校23校分）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">令和２年度計画</td><td colspan="2">令和２年度実績</td><td colspan="2">令和３年度計画</td></tr>
<tr><td colspan="2">・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。
学習指導要領に基づく学習指導を行う。
小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。</td><td>→</td><td colspan="2">喫煙については、小学校は6年生、中学校３年生の保健の授業内容で取り扱うことが学習指導要領に示されているため、市内小学校46校、中学校23校で学習している。
発展学習は、薬物乱用防止のみのため、喫煙での発展学習はない。</td><td>→</td><td>・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。
学習指導要領に基づく学習指導を行う。
小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。</td></tr>
</table>

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：喫煙

<table>
<tr><td>４）</td><td colspan="3">喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及（●）</td><td>令和２年度取組についての担当課全体評価</td><td>B：概ね計画通りできた</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">妊娠・出産の機会を捉え、喫煙や受動喫煙の害について知識の普及をすることができた。
新型コロナウィルス感染症拡大防止のため１月からの教室が開催できなかった。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>周産期支援事業
こんにちは赤ちゃん事業</td><td>・母子健康手帳交付時の保健指導
・妊娠期から子育て期の各種教室の実施
・生後４カ月までの乳児およびその保護者の全戸訪問の実施</td><td>こども健康課</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向（改善案）</td><td>各事業を引き続き継続して実施する。</td></tr>
</table>

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及を継続して行う。	→	母子健康手帳交付時面接、こんにちは赤ちゃん訪問時、プレママプレパパ教室16回（平日中止土曜日16回）で、喫煙及び受動喫煙の害について普及啓発した。また、必要時卒煙教室を案内した。 令和2年度は1,920人の妊娠届出があり、そのうち49人が「たばこを吸っている」と回答。「妊娠がわかりやめた」と回答した人が250人だった。	→	母子健康手帳交付時、周産期の各種教室、こんにちは赤ちゃん訪問等の機会に、喫煙、受動喫煙の害についての知識の普及を継続して行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

<table>
<tr><td>1）</td><td colspan="3">身体に負担をかけない飲み方の普及啓発（●）</td><td>令和２年度取組についての担当課全体評価</td><td>C：計画通りできなかった</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">地域や職域からの依頼があったテーマが、適正飲酒の内容を盛り込める内容ではなかったため、計画通りにできなかったとした。</td></tr>
<tr><td>①</td><td>健康教育事業</td><td>・地域、職域等へのチラシやポスターの配布
・職域との連携による健康教育の実施
・健康教室の実施</td><td>保健所健康づくり課（総務・健康増進担当）</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向（改善案）</td><td>地域や職域から依頼があった健康教育を実施する際はできるだけ生活習慣病リスクを高める量の飲酒とならないよう適正飲酒の内容を盛り込んで実施する。</td></tr>
</table>

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・飲酒をメインテーマとした健康教育は集客が難しいため、地域や職域から依頼があった健康教育を実施する際はできるだけ適正飲酒の内容を盛り込んで実施する。	→	・地域や職域からの依頼があったテーマが、適正飲酒の内容を盛り込める内容ではなかった。	→	・飲酒をメインテーマとした健康教育は集客が難しいため、地域や職域から依頼があった健康教育を実施する際はできるだけ生活習慣病リスクを高める量の飲酒とならないよう適正飲酒の内容を盛り込んで実施する。 ・酒類大手がＨＰ上にアルコールのグラム表記を順次開示し始めてるため、情報収集をしつつ、相談実施の際必要に応じて情報提供を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

2）	未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	巡回指導での高校生・未成年青少年への声掛けは実施したが、青少年健全育成協力店向け非行防止講座の年度内未実施となり、さらに青少年健全育成協力店の新規開拓も目標値を下回ったため。
②	青少年相談事業	・巡回指導の実施 ・青少年健全育成協力店向け非行防止講座の開催 ・青少年健全育成協力店の登録	こども家庭支援課	課題と今後の方向（改善案）	新型コロナウィルス感染症予防の観点からの巡回指導の実施や非行防止講座の実施方法の検討および、青少年健全育成協力店への情報提供のあり方の検討。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行った。 巡回指導 200件（指導113件、助言87件）	→	・巡回指導は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の社会情勢を加味しながらの活動という制約の中で、できうる限り、指導・助言にかかわらずに若者に声掛けをし、地域情報を加味しながら地域への巡回を行う。
・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店向けへの情報の発信について検討を行う。	→	・非行防止講座は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見送った。 ・育成店向け非行防止講座も開催を見送ったが、これに替えて「協力店だより」を作成し、協力店に送付した。	→	・育成店向け非行防止講座は、開催方法の検討や協力店向けへの情報の発信について検討を行う。
・青少年の健全育成、社会環境の健全化を目的として、引き続き趣旨に賛同する商店の新規開拓を行う。	→	・青少年健全育成協力店の新規開拓は目標値を下回り、延べ件数は減少した。 青少年健全育成協力店　累計協力店　327店 新規開拓件数0件	→	・青少年の健全育成、社会環境の健全化を目的として、引き続き趣旨に賛同する商店の新規開拓を行う。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

<table>
<tr><td>2）</td><td colspan="3">未成年者に対する飲酒防止の取り組み（●）</td><td>令和2年度取組についての担当課全体評価</td><td>A：計画通りできた</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">・計画中の事業について、予定通り実施することができた。</td></tr>
<tr><td>③</td><td>学校保健関係指導</td><td>・学習指導要領解説に基づく学習指導</td><td>保健体育課</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向（改善案）</td><td>・新学習指導要領（小学校は令和２年度から、中学校は令和３年度から全面実施）に基づく学習活動の充実を図る。
（参考）薬物乱用防止教育に係る予算措置の拡充を求める。（小学校46校、中学校23校分）</td></tr>
</table>

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。	→	飲酒については、小学校は6年生、中学校３年生の保健の授業内容で取り扱うことが学習指導要領に示されているため、市内小学校46校、中学校23校で学習している。 発展学習は、薬物乱用防止のみのため、飲酒での発展学習はない。	→	・引き続き、喫煙や飲酒、薬物乱用防止に関して、更なる指導の充実を図っていく。 学習指導要領に基づく学習指導を行う。 小学6年の「病気の予防」、中学３年の「健康な生活と疾病の予防」の中で、喫煙、飲酒、薬物乱用などは健康を損なう原因となること等について、児童生徒の理解を深める。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：飲酒

<table>
<tr><td>３）</td><td colspan="3">妊娠、授乳期の飲酒をなくす取り組み（●）</td><td>令和２年度取組についての担当課全体評価</td><td>B：概ね計画通りできた</td></tr>
<tr><td>番号</td><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>担当課</td><td rowspan="2">担当課評価理由</td><td rowspan="2">妊娠、授乳期の飲酒の害について普及啓発ができた。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>周産期支援事業</td><td>・母子健康手帳交付時の保健指導
・妊娠期から子育て期の各種教室の実施</td><td>こども健康課</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>課題と今後の方向（改善案）</td><td>周産期支援事業を引き続き継続して実施する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">令和２年度計画</td><td colspan="2">令和２年度実績</td><td colspan="2">令和３年度計画</td></tr>
<tr><td colspan="2">母子手帳交付時面接や妊娠期から子育て期の各種教室において母乳をとおして飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について啓発を継続して行う。</td><td>→</td><td colspan="2">母子健康手帳交付時面接やプレママプレパパ教室の中で、飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について説明し啓発を行った。</td><td>→</td><td>母子手帳交付時面接や妊娠期から子育て期の各種教室において母乳をとおして飲酒が胎児、母体、母乳等に及ぼす影響について啓発を継続して行う。</td></tr>
</table>

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：歯・口腔の健康

1） 2） 3） 4） 5）	歯科健診受診者を増やす取り組み（●） 歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●） 各自の歯の状態にあった歯みがきと歯間の清掃の普及啓発（●） 咀嚼の大切さの啓発（●■） ３歳でう蝕のない児を増やす取り組み（●）	令和２年度 取組についての 担当課 全体評価	C：計画通りできなかった

番号	事業名	事業内容	担当課		
① ② ④ ⑤ ⑥	歯科保健事業	・１歳６カ月児、３歳児健康診査時や学校歯科巡回教室、地域等からの依頼による健康づくり教室の際、保護者等への歯科健診受診についての普及啓発 ・成人健康教室の実施 ・学校歯科巡回教室の実施 ・妊娠期に実施する歯科検診 ・歯科健康診査の実施 ・ライフステージにあわせた歯科指導・各種健康教室の実施 ・各種相談会等相談事業の実施 ・２歳６カ月児の歯科健康診査	保健所健康づくり課 （歯科保健担当）	担当課 評価理由	オーラルフレイル予防教室～お口の健康ミニ教室～、学校歯科巡回教室については新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止、歯周病検診（市民健診センターの開設回数減）のため実績が減少した。 妊婦歯科検診受診者は427人であり昨年475人とほぼ変わりなく実施できた。、要受診が70.3%から67.2%へと減少した。
				課題と 今後の方向 （改善案）	歯科健康教育関連については再開に向け、判断を保健所内で検討し市民への啓発は、リーフレットの活用とホームページへの動画掲載等で対応する。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・引き続き、各事業を実施。 ・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じたフッ化物の利用を推奨する。	→	・１歳６カ月児、３歳児健康診査、２歳６カ月児の歯科健康診査 妊婦歯科検診、歯周病検診を実施		・生涯にわたって自分の歯でおいしく食べられるよう、ライフステージに応じ歯科疾患の予防、口腔機能の健全な発達維持向上を目指す。
・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、生まれてくる子どもを含めた歯科に関する健康観の向上について積極的に周知する。	→	・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、生まれてくる子どもを含めた歯科に関する健康観の向上について積極的に周知した。妊婦歯科検診受診者は427人（妊婦歯科検診受診結果：異常なし16.2%、要指導16.6%、要受診67.2%だった。要受診では歯周病が78.4%、むし歯50.5%（重複あり）であった。		・母子健康手帳交付時に妊婦歯科検診について周知し、妊婦自身の歯科疾患の早期発見や治療、生まれてくる子どもを含めた歯科に関する健康観の向上について積極的に周知する。
・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康カアンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、結果を返すことによって、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけをする。	→	・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康カアンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、結果を返すことによって、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけを受診者の29%（799人）に実施した。		・保健所健診センターで健康診査を受ける全ての受診者へ「歯の健康カアンケート」（生活歯援プログラム）を送付し、結果を返すことによって、歯科に関する健康観の気づき支援や動機づけをする。
・ライフステージにあわせた健康教室の実施で、特に高齢者対象の健康教室ではオーラルフレイル予防について積極的に周知する。	→	・ライフステージにあわせた健康教室の実施で、オーラルフレイル予防について周知した。歯と口の健康づくり教室（成人高齢者）9回245人口腔機能維持向上に関する情報をホームページに掲載した。また「お口の体操」「だ液腺マッサージ」などの動画をアップした。		・ライフステージにあわせた健康教室の実施で、特に高齢者対象の健康教室ではオーラルフレイル予防について積極的に周知する。
・集団フッ化物洗口の研修会を希望する市内幼稚園・保育園・こども園に対し実施する。	→	・市立幼稚園・保育園の集団フッ化物洗口実施11園の希望者374人（96%）に実施した。		・集団フッ化物洗口を一部実施手順等を見直し、市内全幼稚園、保育園で実施する。
・全市立小学校 全学級に対して、歯科巡回教室を実施する。	→	・全市立小学校46校に対して、歯科疾患予防のリーフレットを配布（17,426人）し、ホームページにおいて歯みがき方法の動画をアップした。		・全市立小学校 全学級に対し一部内容を変更し、歯科巡回教室を実施する。

※●：健康増進計画　■：食育推進計画

横須賀市健康増進計画・食育推進計画進行管理表

取り組みの分野：歯・口腔の健康

2）	歯科疾患が全身疾患に関連することの周知（●）			令和２年度取組についての担当課全体評価	C：計画通りできなかった
番号	事業名	事業内容	担当課	担当課評価理由	口腔機能向上キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定事業が中止になり普及啓発用のパンフレットを配布することができなかった。 生涯現役講座は、実施途中で緊急事態宣言と重なり、７コミュニティセンターでの実施に留まった。
③	基礎身体能力向上事業 介護予防普及啓発事業	・介護予防に関する知識の普及と教室の実施	健康長寿課	課題と今後の方向（改善案）	令和３年度は「高齢者（幸齢者）健康のつどい」も中止のため、オーラルフレイル予防の情報について、介護予防教室等で普及啓発を行う。

令和２年度計画		令和２年度実績		令和３年度計画
・口腔機能向上キャンペーン　1,000人（生涯現役フォーラム＋高齢者（幸齢者）健康のつどい）	→	・口腔機能向上キャンペーン（生涯現役フォーラム＋高齢者（幸齢者）健康のつどい）　中止	→	介護予防教室等で、オーラルフレイル予防の普及啓発を行う。
・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターとの連携） 9コミュニティセンター×1回 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数および定員に変更がある場合があります。	→	・（普及）生涯現役講座（コミュニティセンターと連携） （口腔）７コミュニティセンター×１回 延127人	→	

※●：健康増進計画　■：食育推進計画